令和８年度



園　だ　よ　り　11月号



杉並区立下高井戸子供園

教育目標　“しあわせいっぱいの子供園”

〇もりもりそだつげんきなからだ　〇たいせつななかまとじぶん　〇かんじるこころとあたま

「大人が思う以上の力をもっている子どもたち」



園長　　原　麻弓

先週土曜日は雨のため、高井戸第三小学校体育館での運動会となりました。

子供園としては６年ぶりの体育館での開催となり、当時を知る職員はほとんどいませんでした。

職員の間では、「大丈夫かな。」「子どもたちにとっては初めてのことだから。」と心配する思いもありました。競技に必要なラインや位置、用具を前日に最終確認に行き、一つずつ心配事をなくしていきました。

少しの不安を残しつつ迎えた当日。

しかし、会が始まる前から、プログラムが始まり進んでいく中で、子どもたちの素晴らしい力を感じずにはいられませんでした。

学級ごとに集まる場所は表示が無くても、担任の先生や友達の姿を見付けて集まる子どもたち。

並ぶラインの訂正にもすぐに応じられる子どもたち。

何よりも、いつも通りの、いつも以上の楽しさを感じ、表現してくれた子どもたちでした。



初めてのことにドキドキする気持ちももちろんたくさんあったと思います。涙が出てしまうことも、おうちの人から離れられないことがあっても、それは育ちの証です。

職員の心配をよそに、子どもたちの楽しむ笑顔がたくさんあふれ、やり切った達成感、勝負に負けた悔しさ、保護者の方と一緒に取り組む喜びを、全身で表してくれました。

保護者の皆様には、どのようなお子様の姿も温かく受け止めていただき、感謝申し上げます。

子どもたちの活動する場所をなるべく広くとるために、保護者席が狭く、ご不便をおかけしたかもしれません。

体育館での開催につきましてお気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

温かな保護者の皆様と、地域の皆様、お世話になった先生方の優しさに囲まれて、下高井戸子供園はしあわせだなぁと感じる一日でした。

ありがとうございました。

【１１月の保育】

年少うさぎ組

初めての運動会を通して、のびのびと体を動かす楽しさを感じるとともに、教師や学級のみんなと一緒に遊ぶ楽しさも感じるようになってきています。他学年が行っていることにも興味をもち、「自分たちもやりたい！」と遊びに取り入れていく姿もあります。

今月は、「みんなで集まると楽しい！」と感じられるように、学級のみんなで “しっぽとり”などの簡単なルールのある遊びや楽器遊びに取り組みます。教師や周りの幼児とルールやイメージを共有して遊んだり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたり踊ったりして、学級のみんなで遊ぶ楽しさを十分に感じられるようにします。

また、散歩や園庭で見つけたどんぐり、木の葉、木の実を使って、製作をしたり楽器にして音を鳴らして遊んだりします。身近な自然を遊びに取り入れ、秋の自然に親しみながら遊びます。

年長ぞう組

仲間と一緒に体を動かして遊ぶことがますます楽しくなり、誘い合って遊ぶことが増えています。

遊びに必要なものや場を作ったり、ルールを考えたり、自分たちで遊びを進めていく楽しさや満足感を味わっています。その中で、自分の思う通りに遊びが進まない難しさを感じることもあります。

友達同士で思いや考えを出し合う姿や、相手の考えとの違いに気付いて折り合いをつけようとする姿を見守り、支えていきます。

また、バス遠足で見たり感じたりしたことを自分なりに表現することを楽しんだり、自分たちで遊びを進めたりしながら、友達と同じめあてに向かって遊ぶことを楽しめるようにしていきます。

１２月の初めには、下高劇場を計画しています。学級全体のめあてに向けて取り組みながら、のびのびと自分の力を発揮し、充実感や達成感を味わえるようにしていきます。

年中くま組

運動会では、大勢の方に見ていただく心地よい緊張感の中、様々な競技を通して体を動かすことを楽しんだり、友達と一緒に活動する楽しさを味わったりしました。年長組の取組を間近で見て、リレーや踊りなどに興味をもち、他学年との関わりも楽しみながら、自分たちでもやってみようとする姿が見られています。

今月は、心地よい気候の中、ますます体を動かして遊ぶことを楽しみます。個々に取り組む雲梯や鉄棒だけではなく、学級のみんなで折り返しリレーやルールのある鬼遊びにも取り組みます。

秋の自然物を使った遊びや、新しい素材や用具を使った製作などにも取り組み、自分なりに見立てたり作ったりすることを楽しみます。

自分のやりたいことや伝えたいことがはっきりしてきて、友達と思いや意見がすれ違うことが増えてきます。思いを伝えようとすることを支え、違う考えがあることに気付けるようにしていきます。

